

氏名	上 村 雅 之
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3887号
学位授与の日付	平成15年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Identification of the Antigens Predominantly Reacted with Serum from Patients with Hepatocellular Carcinoma (肝細胞癌患者の血清抗体で認識される癌特異抗原の同定)
論文審査委員	教授 田中 紀章 教授 清水 憲二 教授 小出 典男

学位論文内容の要旨

自家血清を用いて癌細胞由来の cDNA ライブラリーをスクリーニングする SEREX 法(Serologic analysis of recombinant cDNA expression libraries)を用い、2例の肝細胞癌での検討を行った。切除標本より作成した2つの cDNA ライブラリーより合計約 60 万クローンをスクリーニングし、既知の各種腫瘍関連遺伝子や2つの未知遺伝子を含む 27 の抗原を同定した。

これらの抗原に対する抗体産生の頻度を HCC 患者・慢性肝疾患患者および健常人の血清を用いて検討すると、Tat binding protein-1・ β 4 integrin-binding protein・ribosomal protein L30 の3つの抗原に対する抗体は肝細胞癌患者において特異的に 55%、45%、20%の陽性率で認められた。抗原自体の存在は疾患特異的なものではないが、肝細胞癌患者での抗体産生の陽性率は高く、腫瘍マーカーとしての利用可能性が示された。

論文審査結果の要旨

本研究は、自家血清を用いて癌細胞由来の cDNA ライブラリーをスクリーニングする SEREX 法を用い、2例の肝細胞癌より作成した2つの cDNA ライブラリーより合計約 60 万クローンをスクリーニングし、既知の各種腫瘍関連遺伝子や2つの未知遺伝子を含む 27 の抗原を同定したものである。

これらの抗原に対する抗体産生の頻度を HCC 患者・慢性肝疾患患者および健常人の血清を用いて検討すると、Tat binding protein-1・ β 4 integrin-binding protein・ribosomal protein L30 の3つの抗原に対する抗体は肝細胞癌患者において特異的に 55%、45%、20%、陽性率で認められた。

本研究は肝癌の腫瘍マーカーについて重要な知見を示したもので、よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。